

# UNIVERSIADE GWANGJU 2015 REPORT 2

## (6/30)

6月30日（火）

いよいよ戦いの地、韓国・忠州へ向かう日が来ました。先発隊2名を除いた選手・スタッフ11名は、多競技の選手・役員とともに、揃いの公式服装に身を包み4:30に朝食をとると5:20に宿泊先であるグランドプリンス新高輪を出発し羽田空港へ向かいました。

羽田空港到着後、航空チケットを受け取り8:30定刻通りのJL91便にてソウル・金浦空港へ飛び立ちました。

**行ってきます！  
応援よろしくお願ひします！！**



左から、LW2x富田選手(明治大学)、LW2x大石選手(株式会社中部プラントサービス)、LM4-志賀選手(日本大学)、LM2x長田選手(早稲田大学)、LM2x大塚選手(日本大学)、LM4-林選手(日本大学)、LM4-荒木選手(日本大学)、LM4-佐藤選手(日本大学)



金浦空港でユニバーシアードスタッフの歓迎を受ける選手たち。



選手村入村時に、セキュリティチェックを通過している様子。

10:45定刻よりやや早く金浦空港に到着したボートの日本代表選手団は、ここで他の競技と別れ、ボート会場のある忠州へ向かいました。金浦空港は予定より1時間ほど早い11:25にバスで出発しました。

バスはスムーズに忠州に向けて走り、そのまま予定より1時間ほど早く忠州の選手村(分村)に到着しました。ここで先発隊の崎山委員長と今次技術スタッフが出迎え合流し、ユニバーシアードボート競技日本代表選手団は全員が顔をそろえました。選手団は各部屋に分かれ荷物を置き、まず昼食をとりました。このときはADカードの代わりにテンポラリーカードを身につけて行動しました。



日本代表選手団全員が顔をそろえての昼食となった。



忠州ボートコースへ到着、素晴らしく整備された会場に一同感動した。

#### 16:05 忠州ボートコースに到着

選手村からボートコースまではバスで15分ほどで到着しました。ここで、選手は艇のチェックに向かいました。一部スタッフのみ別行動で選手のパスポートを預かりADカードの発行手続きを行いました。

会場では、アルゼンチン、カナダ、オランダ、イタリア、韓国、オーストラリアの姿が確認できました。

また会場では、大会前から現地の情報を提供してくださっていたキムナヨンさんにもお会いできました。キムナヨンさんは、ADカードの手続きやリギングの様子を見守っていただきました。忠州湖カップに引き続き日本代表チームがお世話になります。



オールにカッティングシートを貼る  
富田選手(明治大)、と大石選手  
(株式会社中部プラントサービス)



リギングを行うLM2xクルー  
と梶田コーチ、崎山委員長



選手村に戻り、翌日の予  
定と注意点を確認する日  
本代表選手団

18:15 選手村に帰村

選手村に戻った選手・スタッフは、翌日の予定と注意点を確認して解散しました。こうして早朝の移動から始まった長く慌ただしかった日も終わりました。